

2025年度 清水みぎわ保育園 年間指導計画 (3歳児 小ばら組)

年間目標				・園生活の流れや基本的な生活の仕方がわかり、自ら取り組みながら少しずつ身につけていく。 ・自分の思いや感じたことを、自分なりの言葉で伝えたり、さまざまな活動で表現したりする。 ・いろいろな物事に興味や関心を持ち、友だちと親しみふれあいながら安心して自分のあそびに取り組む。											
年間区分				Ⅰ期（4月・5月・6月）		Ⅱ期（7月・8月）		Ⅲ期（9月・10月）		Ⅳ期（11月・12月）		Ⅴ期（1月・2月）		Ⅵ期（3月）	
養護	生命			室内外の環境を整え、安全面に配慮して快適に過ごせるようにする。						・保健衛生、子ども一人ひとりの体調に留意し、健康で快適に生活できるようにする。					
	情緒			一人ひとりの気持ちを受け止め共感する。						・一人ひとりの思いを大切に受け止め、出来るようになったことを認めて自信につなげる。					
教育	表現	豊かな感性と表現	【あそび】	・見立て遊びをする。				・意味づけした遊びをする。				・なりきって遊ぶことを楽しむ。			
			【製作・絵画】	・のりの使い方、加減を覚える。 ・紙をちぎったものを作品に使う。 ・はさみの使い方を覚え、1回切りができる。 ・色を覚える。 ・クレパスの使い方を知り、力強い線が描ける。		・簡単な折り紙に挑戦する。(山折り) ・絵の具遊びを楽しむ（太筆で描けることを楽しむ）		・いろいろな素材にふれ、作る楽しさを味わう。 ・顔が分かり、パーツが描けるようになる。 ・クレパスで色を塗りつぶす楽しさを味わう。		・折り紙が折れるようになる（山折り、谷折り） ・線に沿ってハサミで切れるようになる（連続切り） ・クレパスと絵の具を使って、絵を描いてみる。 ・顔のパーツをそれぞれに合った色でかけるようになる。					
			【音楽】	・音楽に親しみ歌ったり体を動かしたりしながら楽しむ ・歌詞を覚えて大きな声で歌う				・簡単なリズムが打てる（カスタネット、鈴）		・リズムが曲に合わせて打てる（3拍子、4拍子）					
	健康	健康な心と体	体力づくり	・自分の体をコントロールして、全身運動をする。(走る、飛ぶ、投げる etc.) ・友だちと手を繋いで歩く				・年上の友だちに教えてもらいながら、感覚を空けずに歩けるようになる。 ・巧技台や跳び箱を使って全身運動を促す。							
				・リズムの動きを覚え動けるようになる。		・プール遊びを楽しむ。 ・顔を水につけられる。		・運動会に向けて、気持ちを高めながらダンスなどに取り組む。		・持久走をする。 ・大縄遊びを楽しむ。 ・アスレチック遊びを楽しむ。					
			排泄	・排泄の感覚が長くなり、日中は布パンツをはいて過ごすようになる。 ・排泄の後始末を不完全ながらも自分でする。		・パンツやズボンをおろし、全部脱がずに排泄ができる。 ・自分で尿意を感じてトイレに行く。		・排便後、自分でお尻がふける。							
			着脱	・脱いだ服をたたむことができる。 ・自分の服の着脱がだいたいできる。		・水着の着脱をしようとする。		・声かけにより、衣服の前後、靴の左右が逆になってることに気がつきなおそうとする。		・少しの手伝いで身の回りのことはだいたいできる。					
	人間関係	自立心 共同性 道徳性 規範意識のめばえ 社会生活との関わり	・保育者や友だちに親しみを持ち、簡単なごっこあそびをする。 ・友だちと誘い合い仲良くすることの心地よさを感じる。				・簡単なルールのある遊びをし合図や順番、交代などの約束ごとを学ぶ。 ・行事に向けての活動に参加し、友だちと協力し合う大切さを知る。				・友だちが困り泣いていると、なぐさめたり、保育士に伝えたりして、手助けをしようとする。				
	言葉	言葉による伝えあい	・自分の気持ちを短い言葉で伝える。 ・自分の思いや考えを保育士に伝えようとする。		・興味のある言葉を聞いたり、言ったりして楽しむ。		・自分の気持ちを長分で伝える。 ・自分の思ったこと、経験したことを保育士や友だちに話そうとする。				・自分の意思を理由とともに主張する。 ・友だちと関わる中で、我慢したりゆずりあったり、気持ちを伝え合ったりする。				
	環境	自立心 共同性 道徳性 規範意識のめばえ 社会生活との関わり	・自分のものや片づける場所が分かる。 ・「いいタッチ・わるいタッチ」「だいじだいじ」などの絵本を見て子ども自身が自分を守るために大切なことを学ぶ。体の大切さだけでなく一人ひとりが大切な存在ということを知る。				・面白そう、やってみたいという気持ちをもって繰り返し遊ぶ。								
食育				・スプーンを使って食事する。(麺類はフォークを使って食べる) ・苦手なものを自分で食べようとする ・お茶碗やお皿をもって一人で食べられるようになる。 ・季節の食材について知る				・様々なものを進んで食べようとする。 ・スプーンでこぼさずキレイに食べられたら様子を見ながら少しずつお箸にかえていく。 ・料理ごっこを楽しむ。							
礼儀				・近隣の交通安全について（4月） ・あいさつ（5月） ・廊下や階段での歩き方（6月）		・声の出し方（7月） ・座り方（8月）		・食事の仕方（9月） ・靴のはき方（10月）		・ものの扱い方（11月） ・手洗い場、トイレの使い方（12月）		・話の聞き方（1月） ・公共の場での振る舞い（2月）		・ことばについて（3月）	
保健				・虫歯予防デー 歯磨き導入（6月）		・熱中症予防 ・プールのお約束 ・栄養の話		・手洗い/咳エチケットのお話		・いい歯の日（11月）		・うんちの話		・成長の話（3月）	
反省															

2025年度 清水みぎわ保育園 年間指導計画 （４歳児 中ばら組）

年間目標				・ 基本的生活習慣を身につけ、自ら喜んでいろんなことに取り組む。 ・ 身近な出来事や自然に興味をもち、進んで触れたり関わったりする。											
年間区分				Ⅰ 期（４月・５月・６月）		Ⅱ 期（７月・８月）		Ⅲ 期（９月・１０月）		Ⅳ 期（１１月・１２月）		Ⅴ 期（１月・２月）		Ⅵ 期（３月）	
養護	生命			・ 身の回りの清潔に関するところを見直し、健康的に過ごせるようにする。				・ 運動と休息を十分に取ることの大切さを教える。				・ 一人ひとりの基本的生活習慣や態度を確認し自信をもって生活できるようにする。			
	情緒			・ 子どもに寄り添い、安心感をもって過ごせるようにする。				・ 一人ひとりの思いを受け止め、活動後に満足感や達成感を味わえるようにする。				・ 仲間の一人として認めてもらう喜びを感じ、意欲的に生活する。			
教育	表現	豊かな感性と表現	【あそび】	・ なりきってあそぶことを楽しむ。				・ いろいろな方法を使って表現し、イメージを膨らませることができる。				・ 想像力を広げ、友だちとイメージを共有しながら表現することを楽しむ。			
			【製作・絵画】	・ 形を理解し、丁寧に折り紙を折る。 ・ はさみがきちんと使える。 ・ クレパスで描きたいものが描ける。 ・ しっかり塗りこみができる。		・ 絵の具を（太筆）使って自由に描けることを楽しむ。		・ 実際に目にしたものを、特徴をつかんで描ける。				・ 共同製作が楽しんではできる。 ・ お話を聞いて、創造ヲ膨らませながら描ける。			
			【音楽】	・ 楽しんで大きな口で歌う。 ・ 怒鳴らなくても大きな声を出せるようになる。 ・ カスタネットや鈴で簡単なリズムが打てる。				・ お腹から声を出す意識をもつ。 ・ 色んな楽器に触れる。		・ 周りと声を合わせてうたう。		・ 曲の雰囲気を理解し、曲のイメージに合った歌い方ができるようになる。			
	健康	健康な心と体	体力づくり	・ 全身のバランスをとった運動あそびをする。 ・ 大縄遊びを楽しむ。				・ ルールを守って、集団あそびや運動が楽しめる。 ・ 跳び箱遊びを楽しむ							
				・ サーキット遊びを楽しむ。 ・ 姿勢や形を意識しながら、リズムを楽しむ。 ・ 体ほぐしあそびや体操で体幹を鍛える。		・ プールで泳いだりもぐったりできるようになる。 ・ 感覚を空けずに歩けるようになる。		・ 集団演技を楽しんでやる。 ・ かけっこ・リレーを楽しむ。		・ 持久走をする。					
			生活	・ 生活の仕方がわかり、自分でできることはすすんでしようとする。		・ 夏の生活の仕方を知り、できることは自分でしようとする。（水分補給や汗をかいたときに自発的に衣服を着替えるなど）		・ 気温に応じて衣服の調節をして、健康で快適に過ごす。				・ 手洗いうがい、衣服の調整など冬の健康的な生活に必要な習慣が身につく。			
	人間関係	自立心 共同性 道徳性 規範意識のめばえ 社会生活との関わり		・ ルールの大切さがわかり、交代や順番待ちができる。				・ 仲間意識が芽生える。				・ 友だちと競い合ってあそぶ。 ・ トラブルを起こしながらもお互いに話し合い、思いを受け入れ、相手の気持ちに気づいていく。			
	言葉	言葉による伝えあい		・ 自分の意思を理由とともに主張する。 ・ 保育者や友だちに親しみをもち、言葉のやり取りを楽しむ。		・ 経験したことや感じたことを話し、保育者や友だちと会話することを楽しむ。		・ 相手の話を聞いて、気持ちに気付く。 ・ 自分の感じたことや思いを、自分なりの言葉で発表したり表現したりできる。				・ 言葉を使って思考する。 ・ 人の話に親しみをもちて聞き、自分の感じたことを保育者や友だちにはっきりと伝える。			
	環境	自立心 共同性 道徳性 規範意識のめばえ 社会生活との関わり		・ 自分のものや片づける場所が分かる。 ・ 「いいタッチ・わるいタッチ」「だいじだいじ」などの絵本を見て子ども自身が自分を守るために大切なことを学ぶ。体の大きさだけでなく一人ひとりが大切な存在ということを知る。				・ いろいろなことに興味、関心をもち、自分からやってみようと取り組む。							
	食育				・ 楽しい雰囲気の中で食事を楽しむ。 ・ きちんと座って、食器を持ってこぼさずに最後まで食べきる。 ・ お箸を使って食事をする。				・ 食事のマナーを意識しながら食事を楽しむ。 ・ 料理ごっこを楽しむ。 ・ 季節や行事の食材を知り、味わう。				・ お箸を正しくもって食事する。		
礼儀				・ 近隣の交通安全について（４月） ・ あいさつ（５月） ・ 廊下や階段での歩き方（６月）		・ 声の出し方（７月） ・ 座り方（８月）		・ 食事の仕方（９月） ・ 靴のはき方（１０月）		・ ものの扱い方（１１月） ・ 手洗い場、トイレの使い方（１２月）		・ 話の聞き方（１月） ・ 公共の場での振る舞い（２月）		・ ことばについて（３月）	
保健				・ 虫歯予防デー 歯磨き導入（６月）		・ 熱中症予防 ・ プールのお約束 ・ 栄養の話		・ 手洗い/咳エチケットのお話		・ いい歯の日（１１月）		・ うんちの話		・ 成長の話（３月）	
反省															

2025年度 清水みぎわ保育園 年間指導計画 (5歳児 大ばら組)

年間目標				・友だちと意欲的にいろいろなあそびに取り組み、基本的生活習慣、年長児にふさわしい心構え、態度を育てる。 ・園の生活の仕方、コミュニケーション力（会話、あいさつ、付き合い方など）を身につけ、主体的に行動する。											
年間区分				Ⅰ期（4月・5月・6月）		Ⅱ期（7月・8月）		Ⅲ期（9月・10月）		Ⅳ期（11月・12月）		Ⅴ期（1月・2月）		Ⅵ期（3月）	
養護	生命			・生活習慣を見直しながら、一人ひとりが安心して過ごせるようにする。				・健康、安全などの生活に必要な習慣が身につくようにする。				・一人ひとりが基本的生活習慣を身につけ、自信につながるようにする。			
	情緒			・一人ひとりの気持ちを受け止め、信頼関係を深めていく。				・共通の目標をもち、友だちと協力し、やり遂げることで自信や充実感をえられるよ				・友だちとの関わりを深め、思いやりをもてるようにする。			
教育	表現	豊かな感性と表現	【あそび】	・経験したことや感じたこと、考えたことをさまざまな方法で工夫して表現する。						・あそびの中に文字、数を取り入れてあそぶ。					
			【製作・絵画】	・線に合わせてはさみで切れる。 ・紙の端、角を合わせて折り紙を丁寧に折れる。 ・身近な生き物に関心をもち、よく見て描く。 ・サインペンの扱いになれる。		・絵の具で好きな色を使って色を塗る。 ・楽しかったことを思い出しながらのびのびと描く。		・紙以外の素材も使って製作を楽しむ。 ・お話の内容をイメージし、自分なりに表現する。		・自分で思った形が切れる。		・自分の作りたいものを工夫して作れるようになる。 ・身近な人物などをよく観察して描く。 ・イメージした世界を友だちと協力して描く楽しさを味わう。			
			【音楽】	・大きな声でのびのびと歌う。 ・歌詞をしっかりと覚えて歌う。 ・楽器を使って、いろいろなリズム打ちをする。				・美しい声で歌う。 ・正しい音程・リズムで歌う。		・曲の世界を感じながら、気持ちを込めて歌う。		・みんなで心をひとつにして歌う楽しさを味わう。			
	健康	健康な心と体	体力づくり	・いろいろなあそびの中で十分に体を動かす。 ・遊具や用具の安全な使い方を知り、守って遊ぶ。 ・リズム遊びを楽しみながら、運動機能を高める。 ・体ほぐしや体操で体幹を鍛える。 ・長尾山の山登りを1時間かけて登る。 ・大縄遊びを楽しむ。・跳び箱遊びを楽しむ。		・水遊びやプールあそびなどでダイナミックに遊ぶ。 ・プールで泳いだり潜ったりすることができる。		・共同あそびやごっこあそびを満足するまで遊ぶ。 ・跳び箱や鉄棒などの複雑な運動をおこなう。 ・かけっこ・リレーを楽しむ。 ・山登りを楽しむ。				・寒さに負けず十分に体を動かして遊ぶ。 ・持久走をする。			
				生活	・身の回りのことを進んで自ら行う。		・衣服の調整を自分で行う。		・生活に見通しをもって行動する。				・自信をもち、自分で状況判断しながら、遊びや生活をすすめることができる。		
	人間関係	自立心 共同性 道徳性 規範意識のめばえ 社会生活との関わり	・良いことや悪いことを判断しながら考えて行動できる。 ・最年長になったことを喜び、異年齢児に優しく接し、親しみの気持ちをもつ。				・共通の目標に向かって、自分の役割を果たそうと努力したり、友だちと協力して進めようとする。 ・友だちや異年齢児に思いやりの気持ちをもって関わる。				・友だちと協力しながら活動し、やり遂げた喜びやさまざまな思いに共感する。 ・自分たちでルールを決めたり、遊び方を考えたりしながらあそぶ。				
	言葉	言葉による伝えあい	・経験したことを思い出しながら話す。 ・保育者や友だちの話をよく聞き、内容を理解する。		・自分の言いたいことをわかるように話すとともに関心をもつ。		・相手や状況に応じた言葉を使う。 ・体験したことや、感じたことを言葉で表現することを楽しむ。				・体験をもとに、その時の感情を言葉で表現する。 ・友だちと共通のイメージをもって、身振りや言葉での表現をしたり、人前で表現することを楽しむ。				
	環境	自立心 共同性 道徳性 規範意識のめばえ 社会生活との関わり	・自分のものや片づける場所が分かる。 ・「いいタッチ・わるいタッチ」「だいじだいじ」などの絵本を見て子ども自身が自分を守るために大切なことを学ぶ。体の大切さだけでなく一人ひとりが大切な存在ということを知る。				・季節の自然物や身の回りの物を発見して、あそびに取り入れて楽しむ。 ・文字や数字、時間に関心をもつ。								
	食育			・旬の食材や伝統のある料理があることを知る。 ・農業体験を通して、食への関心を高め、調理に積極的に取り組む。 ・食事のマナーを守って楽しく食事をする。 ・給食の配膳の手伝いを通して食材について知る。				・食べ物と体との関係に興味をもつ。 ・料理や食材を作ってくれている人に感謝する。 ・収穫した食材で料理ごっこを楽しむ。							
	礼儀			・近隣の交通安全について（4月） ・あいさつ（5月） ・廊下や階段での歩き方（6月）		・声の出し方（7月） ・座り方（8月）		・食事の仕方（9月） ・靴のはき方（10月）		・ものの扱い方（11月） ・手洗い場、トイレの使い方（12月）		・話の聞き方（1月） ・公共の場での振る舞い（2月）		・ことばについて（3月）	
	保健			・虫歯予防デー 歯磨き導入（6月）		・熱中症予防 ・プールのお約束 ・栄養の話		・手洗い/咳エチケットのお話		・いい歯の日（11月）		・うんちの話		・成長の話（3月）	
	行事			・進級式 ・遠足（長尾山 山登り体験） ・遠足 ・シャワー開始		・炭山 ・お泊り保育 ・プール開始(7月)終了(8月) ・夏祭り		・炭山 ・シャワー終了 ・運動会 ・長尾山遠足(サツマイモ)		・遠足 ・感謝祭についての行事 ・料理ごっこ ・クリスマス会		・生活発表会 ・長尾山遠足(どんと焼き)		・お別れ遠足 ・炭山 ・卒園式	
小学校就学に向けて				★人の話の聞き方、座り方を覚え実践する。 ★時間を意識して行動できるようになる。 ★荷物の管理が自分で行える。 ★字や数字に興味をもって読み書きとりが少しできるようになる。 ★体験入学 ★小学校教諭と保育士との子どもの情報共有・情報交換											
反省				大ばらに進級した喜びを子どもたちは感じながら過ごしている。徐々に大ばらでの活動や子どもたちと話をする時間、当番について進めている。友だちの前になって名前を言ったり、話をしたり緊張しながら少しずつ自信をもって大きな声で言えるようになってきた子もいる。友だちとトラブルになった際は、話をする前に泣いてしまう子や、うまく話せしが合わない為、保育者が仲立ちし、言葉を代弁させながら話し合う必要がある。											

〈 年間目標 〉				I 期	Ⅱ 期	Ⅲ期	Ⅳ期
よく遊び、よく食べ、よく眠る 基本的生活習慣の確立を目指して				2歳～2歳3カ月未満	2歳4カ月～2歳6カ月未満	2歳7カ月～2歳8カ月	2歳9カ月～3歳未満
ねらい				・身の回りのことを自分でしようとする意欲を育む。 ・個人差に留意しながら一人ひとりの発達に合った全身運動が十分にできるようにする。		・スプーンを3点持ちてこぼさず食べる。 ・ボタンをつけたり、外したりする。	少し先のことを見通して行動する。
子どもの姿				・見立て、つもり遊び。 ・遊びの中で生活を再現する。 ・積み木で作ったものを見立てる。 ・手指操作あそびが豊かになる。 ・食べ物の好き嫌いが出てくる。 ・排泄の自立のための身体機能が整う。 → ・排尿間隔が2時間になる。		・道具を媒介にお友達とごっこ遊びをする。 ・粘土で球や細長い形が作れる。 ・積み木で積む、並べるを組み合わせて作る。 ・簡単なルールのある遊びをする。 ・苦手な食材が出てくる。 ・赤ちゃん言葉から大人言葉への移行の始まり。	
養護と教育	健康	生活習慣	食 事	・よく噛む習慣をつける。 ・種類はフォークを使用する。	・食器に手を添えて、スプーンを使って自分で正しく食事をしようとする。	・スプーンの3点持ちが安定する。 ・スプーンと茶碗を両手で使える。	・細かい介助は必要だが、最後まで自分で食べようとする。
			排 泄	・大人に助けられながら自分で排泄する。			→
			着 脱	・助けてもらって靴を履く。	・保育士に着脱を手伝ってもらいながら自分でできることをする。	・保育士と一緒に簡単な衣服の着脱を試みようとする。	・自分で靴を履く。 ・ボタンを外す。 ・ジャンパーのチャックを自分であげる。
			睡 眠	・自分で布団に入り見守られながら安心して眠る。			→
			清 潔	・嫌がらずに保育士と一緒に手を拭いたり、手洗いをしたりする。	・保育士に促されて手を拭いたり、手洗いをしたりする。		・食事やおやつの前に手を洗うなど、少し先のことが分かり、自分でしようとする。
	運動		・積み木を8個以上積む。 ・独立したグルグル描きをする。 ・友達と手を繋いで歩く。	飛び降りる、ぶら下がることができる。	・両手に持ったボールを頭上から投げる。 ・粘土や球で細長い形が作れる。音楽に合わせて両手を同時に動かす。	・保育士の仲立ちによって共同の道具などを使って遊ぶ。 ・はさみ1回切りをする。	
	人間関係 （人との関わりに関する領域）		・保育士や友だちと信頼関係を築き、安定してあそぶ。	・「自分で」「いやだ」などと強いこだわりや自己主張を見せる。	・保育士や友達のしぐさや行動を真似して一緒に楽しむ。	・保育士の仲立ちで相手にも思いがあることを分かろうとする。	
	環境構成	人的・物的援助	・靴箱・ロッカーに個人マークを貼り、自分で覚えて準備や片付けができるようにする。 ・保育士に気持ちを受け止められ、抱っこ等をしてもらいながら安心してすごす。	・食事スペース・着脱スペース・あそびスペースをつくり、落ち着いて過ごせるようにする。 ・保育士とともに水あそび、夏のあそびを満足するまで楽しむ。	・子どもの意欲を大切にして、出来た時は十分に褒めながら、衣服の着脱など意欲的に行えるようにする。 ・子ども達が自ら遊びを見つけられるように、それぞれの遊びのスペースを作る。	・保育士に見守られながら身の回りのことを自分でできるようにする。	
			言語 （言葉の獲得に関する領域）	・自分で自分の思いを伝えようとする。 ・物の名前を何でも知りたがる。 ・自分のことを名前で言い始める。	・自分の意思や欲求を言葉で表す。 ・簡単な繰り返し言葉やリズムカルな言葉の絵本を好む。 ・発声が明瞭になり、語彙が著しく増加する。	・言葉のやりとりを楽しみ、自分の思いを短い言葉で表す。意思や要求を言葉で表す。 ・保育士や友達との会話を楽しむ。 ・「なんで」「どうして」と尋ね、様々な事に興味を持つ。問いと答えの関係が成立する。	
	表 現	絵画・造形	・独立したグルグル描きをする	・ねじってちぎるなどの連続した手先の動作をする。	・閉じた丸を描く	・丸の大きさを調整して描ける。	
			音楽	・季節の歌に親しむ。	・保育士や友達と一緒に歌うことを楽しむ。	・好きな歌を歌うことを楽しむ。	・好きな歌を保育士や友達と一緒に歌うことを楽しむ。

〈 年間目標 〉				I 期	Ⅱ 期	Ⅲ期	Ⅳ期		
よく遊び、よく食べ、よく眠る 基本的生活習慣の確立を目指して				3歳～3歳2ヵ月未満	3歳3ヵ月～3歳4ヵ月未満	3歳5ヵ月～3歳6ヵ月	3歳7ヵ月～3歳8ヵ月	3歳9ヵ月～3歳10ヵ月	3歳11ヵ月～4歳未満
ねらい				・食器に手を添えてこぼさず食べる。 ・助けをもらいながら自分で着脱をする。	・スプーンを3点持ちで食べる。	・こぼさずに一人で食べる。 ・ボタンを付けたり外したりする。	→	・見通しを持って、促される前に自分で身の回りのことをする。	→
子どもの姿				・役割あそびする。 ・日常生活を再現した多様なごっこ遊びをする。	→	・貸し・借り・交代などの決まりが分かる。 ・並行あそびをする。	・色・形・数・量などに興味を持つ。 ・男女のあそびに違いがはじめる。	→	・手先を使って集中してあそぶ。 ・種類に分けたり、並べてあそぶ。 ・ルールのあるあそびをする。
養護と教育	健康	生活習慣	食 事	・スプーンを3点持ちで食べ、茶碗を両手で持つことができる。	・苦手なものも自分で食べようとする。	・こぼさずに一人で食べられるようになる。	・お箸を使うにあたって、手首の発達が十分な子どもからお箸への移行を始める。	・食後に食器を片付ける。	・自分でお箸を使って大体食べられる。
			排 泄	・布パンツを履いて過ごせる。 ・排泄の間隔が長くなる。	・トイレトレーニングの使い方を知る。	・尿意を感じたら自分でパンツ・ズボンをおろして排泄する。	・自分で便意を感じてトイレに行く。	→	
			着 脱	・靴が自分で履ける。 ・脱いだ服をたたむ。	・ボタンをはめようとする。	・自分で服の着脱が大体できる。	・靴下で自分で履ける。	・声かけにより衣類の前夜や靴の左右が逆になっていないように両向き、両を貼る。 ・ジャンパーのチャックを自分であげる。	・少しの手伝いで身の回りのことは大体できる。
			睡 眠	・自分で布団に入り見守られながら安心して眠る。	→	→	→	→	→
			清 潔	・手洗いを嫌がらずに行う。	・食事のあとがいがいをする。 （コップに水を入れ、くじゅくじゅべーを3回したら残りの水は捨てる。）	→	→	・鼻水が出たときに自分で拭ける。	→
	運動		・人指し指・中指・薬指で3を示せる。 ・粗大運動の基礎ができる。	・はさみ一回切りをする。 ・縦横の十字が描ける。	・色・形・数・量などに興味を持つ。 ・手先を使って集中してあそぶ。	・ケンケンができる。 ・手先を使って集中してあそぶ。	・はさみ2回切りをする。 ・ひもを結ぶ。 ・ボールの下投げができる。	→	
	人間関係 （人との関わりに関する領域）		・保育士や友だちと信頼関係を築き、安定してあそぶ。	・「自分で」「いやだ」などと強いこだわりや自己主張を見せる。	・保育士に仲立ちしてもらいながら友だちの想いや気持ちに気付く。	・少しずつ自分の思いを伝えようとする。 ・「なぜ？」「どうして？」と何でも質問する。	・保育士や友だちと言葉のやりとりを楽しみながら絵本を再現してあそぶ。	・時刻の表現が現れる。 ・簡単なルールのある遊びをする。	
	環境構成	人的・物的援助	靴箱・ロッカー・タオルかけに個人マークを貼り、自分で覚えて準備や片付けができるようにする。 ・保育士に気持ちを受け止められ、抱っこ等をしてもらいながら安心してすごす。	・食事スペース・着脱スペース・あそびスペースをつくり、落ち着いて過ごせるようにする。 ・食事で苦手な物に少量でも挑戦できたら喜びを共有する。 ・箸を持つための準備として、指先の発達をしっかりとして見ていく。	・箸を使った遊びを用意する。 （補助のあるお箸を用意し、スポンジなど握みやすい物を挟む練習）	→	・保育士に見守られながら身の回りのことを自分でできるようにする。	→	
			言語 （言葉の獲得に関する領域）		・自分の意思や欲求を言葉で表す。 ・話し言葉の基礎ができる。 ・自分のことを一人称で話す。 ・自分の思いを態度で伝えてみようとする。（800～1000語）	・自分の気持ちを短い言葉で伝える。	・言葉のやりとりを楽しみ、自分の思いを短い言葉で伝える。 ・簡単な言葉のやりとり、ごっこあそび、つもり遊びを楽しむ。	・保育士や友だちとの会話を楽しむ。 ・時刻の表現があらわれる。	・保育者や友だちとごっこあそびを通して、イメージを膨らませてなりきってあそぶ。
	表 現	絵画・造形	・閉じた丸を描く。	・閉じた丸を描く。	・目や口の認識をして描く。	・目や口を認識して描く。 ・頭足人が描ける。	・描きたいものをイメージして描く。	・描きたいものをイメージして描く。	
			音 楽	・季節の歌に親しむ。	・保育士や友だちと一緒に歌うことを楽しむ。	・椅子に座って歌う。	・ピアノに合わせて歌を歌う。	・楽器を使い遊ぶ。	・音に合わせて楽器を鳴らす。

具 体 的 な 年 間 計 画			4・5月	6・7月	8・9月	10・11月	12・1月	2・3月
	言語 (言葉の獲得に関する領域)		虫や花の図鑑 虫に関する絵本 いろいろはあシリーズ	ジュースやアイス・ゼリーなど 夏のおそびに関する絵本 おばけのシリーズ	せんろはつづくんシリーズ	ハロウィンに関する絵本 季節にちなんだ絵本	おおきなかぶ・さんびきのこぶた おおかみと7ひきのこやぎなど	
	表 現	絵画・造形	描画 シール貼り	絵の具(筆で描く) タンボ	はじき絵 のり・ちぎり絵	のり・ちぎり絵 顔を描く	のり・はさみ(1回切り) 顔を描く	のり・はさみ 顔を描く・折り紙
		音楽	リズム体操・リトミック (4月・ちゅうりつぷ・こいのぼり) (5月・ぶんぶんぶん・手をたたきま しょう・ちようちよう)	(6月・かたつむり・あめ・せつけんさ ん) (7月トマト・うみ・たなばたさま)	(8月・アイスクリーム・とんでったバ ナナ・みずあそび) (9月・どんほのめがね・どんぐりこ ろころ・まつぼっくり)	(10月・山の音楽家・やきいも グーチャーバー・秋の空) (11月・こぎつね・たきび・ドレミ の歌)	(12月・赤鼻のトナカイ・おもちゃのチャ チャチャ・あわてんぼうのサンタクロ ース) (1月・お正月・コンコンクシヤンのうた・ゆ き)	(2月・豆まき・鬼のパンツ・そうた たらしいのにな) (3月・うれしいひな祭り・お花がわ らった・やまびこっこ)
	生活習慣		・手洗いを行なう ・汚れたエプロンを自分のロッカーに 片付ける。	・おやつ時エプロンの使用をやめる	・給食時エプロンの使用をやめる	・おやつ後、ブクブクうがいをする。 (11月)	・給食後、ブクブクうがいをする。 (12月)	・戸外から帰ってきた後、ガラガラ うがいをする。
	養護と教育		・気持ちにより添い、個々のリズムを大切 にしながら丁寧に声かけをし、信頼関係を 築いていく。 ・友だちや手洗い、着替え等の行ないやすい 事象を考える。 ・子どもがわかりやすいように個人マーク をロッカー等につける。	・水遊び後のシャワーを浴びる→ 身体を拭く→着替える等の一連の 流れの導線を考え設置する。 ・熱中症に十分注意し、こまめに水 分補給を行なう。		・気候の変化に合わせて、室温 や衣服の調節をし、快適に過こ せるようにする。 ・愛情をもって気持ちを受け止 め応じることで、自信をもって表 現できるようにする。	・一人ひとりの体調変化に気を 配り、感染症予防に努める。 ・友達と一緒に食べることが喜 ぶ。	・一人で衣服の着脱をし、自分でた たんでしまう。 ・進級に向けて、基本的な生活習 慣が身に付くようにする。
	健 康	運動	1本橋を渡る。 巧技台から飛び降りる。 保育士と手を繋いで歩く。 散歩(住吉公園・疎水沿い)	水遊び・プール遊びをする。	水遊び・プール遊びをする。 散歩(住吉公園・舞台町公園・加賀 屋敷公園)	かけっこをする。 ボックスからジャンプする。 鉄棒にぶら下がる。	巧技台の一本橋を片足で跳び 越える。 ボックスからジャンプする。	巧技台の一本橋を両足で跳び越え る。 手を繋いで並んで歩く。 散歩(田中宮公園・加賀屋敷児童 公園)
	反 省		新しい環境・保育者にも慣れて きた。手遊びや季節の歌を楽し んで、保育者と一緒にうたうこと ができた。散歩では手を友だち と手を繋ぐのに時間がかかった 子もいたが、手を繋ぐべアを固 定したことで、スムーズになっ た。					

Ⅰ 期				Ⅱ 期				Ⅲ 期				Ⅳ 期					
よく遊び、よく食べ、よく眠る				1歳～1歳3ヶ月未満		1歳4カ月～1歳6ヶ月未満		1歳6ヶ月～2歳未満		2歳～2歳3ヶ月未満		2歳3ヶ月～2歳6ヶ月未満		2歳6ヶ月～3歳未満			
ねらい				一人ひとりの生活リズムを把握し、無理なく新しい環境に慣れるよう進める。				・生活リズムを整え、気持ちよく快適に過ごす。 ・育児担当保育を進める中で、保育者との愛着関係をより深くする。				・身の回りのことを自分でしようとする意欲を育む。 ・個人差に留意しながら一人ひとりの発達に合った全身運動が十分できるようにする。				ごっこ遊びを通して言葉のやり取りや動きを表現することを楽しむ。	
子どもの姿				・つまむ、たたく、引っ張るなど手や指などを使って遊ぶ。 ・箱の中に出したり入れたりする。(ポットン遊び)		・見立て遊びをする。 ・引き歩く。 ・模倣遊びができるようになる。 ・砂、水遊びを楽しむ。		・積み木を積む。積み直し。 ・簡単なひも通しができる。 ・「～ではない」「～だ」の思考ができる。 ・遊びの中で生活を再現する。		・友達と一緒にグルグル走るなどのテーマの共有化。 ・順番が分かる。 ・遊びの中で生活を再現する。		・積み木で作ったものを見立てる。 ・手指操作遊びが豊かになる。 ・身近な生活再現遊びを、保育者や友達と共感して遊ぶ。		・友達と一緒に遊ぶことが楽しくなる。 ・粘土で球や細長い形が作れる。 ・積み木で積む、並べるを組み合わせて作る。			
養護と教育	健康	生活習慣	食 事	・しっかり咀嚼する。 ・上手握りでスプーンを持ち少しずつ食べる。 ・1対1の抱っこ食べを通し、食事に意欲を持ち、自分で食事ができるように進める。	・自分で食べたいという気持ちが出てくるようになり、スプーンを使ってみる。 ・助けられながらコップで飲む。	・自分ですくい、こぼしながらも口まで自分で運んで食べる。 ・最初から最後まで自分で食べる。 ・コップを持って飲む。	・始まりから終わりまで自分で食べる。 ・よく噛む習慣をつける。 ・スプーンが支え持ちになると、次になから持つようになる。	・器に手を添えて食べる。 ・汁物は両手でお椀を持って飲む。	・苦手な食材が出てくる。 ・スプーンの三点持ちが安定する。 ・よく噛んで食べることができる。								
			排 泄	保育者に誘われてオムツ替えコーナーに行こうとする(見通しを持つ)	排尿にリズムができた子は、オマル・便器に座り、慣れる。	オムツが濡れたことを知らせて、替えてもらう。	排泄の自立のための身体機能が整う為、オムツが濡れていなければ保育者に誘われ便座に座る。自分でズボンやパンツを脱ぐ。	排尿の後始末のやり方を教えてもらい、手伝ってもらいながら自分でする。	排泄を事前に知らせ自分で行ける。								
			着 脱	手足を動かして着替えの行為に参加する。	自分でズボンを引っ張ってあげようとする。	ズボンははき方を教えてもらい、できることを増やす。脱ぐことを知る。	自分の布団に歩いて向かう。	自分の布団を見つけて横になる。	・上着の両袖を自分で引っ張って脱ごうとする。 ・自分で靴を履く。								
			睡 眠	自分の場所を見つけ、同じ場所で安心して眠る。	一回寝で就寝のリズムが一定になる。	自分の布団に歩いて向かう。	自分の布団を見つけて横になる。	保育者に見守られて安心して自分の布団で眠る。	→								
			清 潔	鼻水は声かけと共に拭いてもらい、綺麗になった気持ちよさを知る。	オムツ(紙パンツ)が汚れている時はこまめに替え、心地よさを味わう。	手洗いの仕方を知る。水を出す。手のひら、手の甲、指の間。水を止める。(パッパッパッ)紙ペーパーで手を拭く。	→	鼻水が出たことを自分で知らせ拭いてもらう。	鼻水が出たら、保育者に伝えて自分で拭こうとする。								
	環境構成	運 動		・つかまり立ち、低い歩き、歩く。 ・転がってきたボールを取る。 ・小さいものを親指、人差し指でつまむ。	・しゃがむ、またぐ。 ・両手をついて階段を昇る。足から降りる。 ・上下左右のなぐり描き。	・足を揃えて階段を昇り、歩行の確立。 ・道具を使う、積み木を3個以上積む。	・飛び降りる。ぶら下がる。 ・積み木を8個以上積む。	・ねじってちぎる、など2つの連続した手指の動作を行う。	・両手に持ったボールを頭上から投げる。 ・簡単な折紙を折る。 ・丸が閉じる。大きさを調整して描く。								
		人間関係 (人との関わりに関する領域)		・特定の人に愛着を示す。 ・三項関係の確立。	・自分でしようとする欲求が出てくる。 ・噛み付きが出ることがある。	・自我が芽生える。 ・気持ちを立て直すことができ始める。	・友達と手を繋いで歩くことができる。 ・「自分で」と自我を主張する。 ・「イヤ」「もっと」など自分の欲求を意思表示する。	・自分を中心にしたものの考え方をする。 ・他者のモデルを自分の世界に取り入れる(まねっこ)。	・道具を媒介に友達とごっこ遊びをする。 ・簡単なルールのある遊びができる。								
		環境構成	人的・物的援助	・甘えや不安を受け止め、安心して過ごせるようにする。	・玩具や遊具を用意したり散策あそびのできる空間作りをしたりする。	・子どもの意欲を大切にし量を加減したり、さりげなく援助し満足感が味わえるようにする。 ・一人ひとりの排泄の間隔を把握してトイレに誘う。	・生活や遊び全般に「自分で」という気持ちが出てくるので、励まされたり、見守られたりしながら意欲を育み、できた喜びに共感する。 ・分かりやすいように物の置き場所を整える。	・動きが活発になるので、体を十分に動かすことのできる遊びを取り入れる。 ・自分の思い通りに行かないと態度で伝えてくる為、思いを受け止め代弁していく。	・身の回りのことを自分でしようとするので、できたことは「できたね」と認め、自信が持てるよう接していく。 ・子どもが経験したことを話す中で言葉のやりとりが楽しめるようにする。								
		言語 (言葉の獲得に関する領域)		・簡単な単語の意味が分かるようになり、大人の言葉に対し、首振りなどの動作で答える。 ・要求や拒否を喃語や動作で表現→拒否を表わす片言を話す。	・指さしや身振りを交え、片言や二語文で気持ちをつたえようとする。 ・大人の言葉をオウム返しする。 ・友だちの名前がわかる。	・興味のある絵本の言葉を繰り返しつかおうとする。 ・友だちの名前を呼ぶようになる。 ・助詞を使うようになる。	・自分で自分の思いを伝えようとする。 ・物の名前を何でも知りたがる。 ・自分のことを名前で言い始める。	・簡単な繰り返し言葉やリズムミカルな言葉の絵本を好む。 ・発声が明瞭になり、語彙が著しく増加する。	・「なんで」「どうして」と尋ね、様々な事に興味を持つ。 ・問いと答えの関係が成立する。 ・意思や要求を言葉で表す。								
		表 現	絵画・造形		・なぐり描きを繰り返し楽しむ。 ・シール貼を楽しむ。	・道具を使って表現したり、色々な素材に触れたりする。	→ ・連続グルグル描きのはじまり。 ・ちぎる、転がすなどの感触あそびを楽しむ。	→ ・友だちと一緒に描くことが楽しくなる。	・好きなようにイメージを膨らませ表現する。 ・季節を感じながら作る楽しさを味わう。	・連続したグルグル丸や、独立した丸を描き始め、意味づけし始める。							
現 在 音 楽			・保育者のリズム遊びを見て、体を動かそうとする。	・手遊び、歌などまねっこをして楽しむ。 ・わらべ歌、ふれあい遊びを保育者と一緒に楽しみ、音楽に合わせて体を動かしたりリズムを感じたりする。	→ ・リズムが好きになり、ピアノの音を聞いて、自分から体を動かそうとする。	→ ・ふれあい遊びや二人組などのリズム遊びを通して、友だちとの関わりを楽しむ。	→	・友だちと一緒に歌うことを楽しむ。									

具体的な年間計画			4・5月	6・7月	8・9月	10・11月	12・1月	2・3月
	言語 (言葉の獲得に関する領域)		擬音語を使った絵本を楽しんで見る。	→	繰り返しの言葉を使った絵本を楽しんで見る。	→	簡単なお話の絵本を理解してみる。	→
	表 現	絵画・造形	いちご こいのぼり製作 シール貼り なぐり描き	朝顔(染紙) 七夕製作(スイカ・星飾り)	さかな(ハケ) ブドウ(タンボ)	どんぐり(フィンガーペインティング) きのこ(シール貼り)	クリスマス製作(リース) 干支製作(絵の具)	ひな祭り製作(染紙) 雪だるま(フィンガーペインティング)
		音 楽	ちゅうりっぷ ちょうちょ こいのぼり こりこのうた リトミック・リズム遊び	かたつむり・とけいのうた あまだれポットン しゃぼん玉・たなばたさま 水あそび	すいかの名産地・アイアイ とんでったバナナ・虫の声 げんこつ山のためきさん ぼんぼこためき	もみじ・どんぐりころころ まつぼっくり・こぎつね やきいもグーチャーバー 大きな栗の木の下で	あわてんぼうのサンタクロース お星がひかる・たきび お正月・風揚げ コンコンシャンのうた	鬼のパンツ・雪のペンキ屋さん ゆき・うれしいひなまつり つくしんぼ
	健 康	運 動	巧技台 階段昇り降り サーキット遊び 散歩	→ プールあそび 水遊び	→	巧技台 階段昇り降り サーキット遊び 散歩	鉄棒ぶらさがり	→
	反 省							

2025年度				清水みぎわ保育園 乳児年間指導計画				【0歳児たんぽぽ組】							
〈 年間目標 〉				Ⅰ 期		Ⅱ 期		Ⅲ期		Ⅳ期					
				産休明け～3ヶ月未満		3～6ヶ月未満		6～9ヶ月未満		9～12ヶ月未満		1歳～1歳6か月未満		1歳6か月～2歳未満	
よく遊び、よく食べ、よく眠る															
ねらい				一人ひとりの生理的欲求を十分に満たし、安定した生活リズムで気持ちよく過ごせるようにする。		決まった保育者が食事、睡眠、排泄など生活面の世話をし、愛着関係を形成していく。		おもちゃを「どうぞ」と渡しであそびの相手をし、保育者との関わりを楽しめるようにする。また、体全体を動かしてあそぶことを楽しめるようにする。		・楽しい雰囲気なかで、自分から食べようとする意欲を引き出す。 ・広い場所でははいはいや伝い歩きなどをして探索活動を楽しむようにする。		・保育者に見守られながら一人遊びを十分に楽しめるようにする。 ・おもしろ興味を持ち、座ろうとする。また、おもちゃが濡れたことを表情やぐさで伝えるのでそれに応える。		・保育者に手伝ってもらいながら、衣服を着脱しようとする。 ・友達に関心を示す。	
子どもの姿				・眠りが浅く、おむつが濡れたり、おなかがかすくと泣き、満たされると泣き止む。 ・あやすと笑い、左右に動くものを追視する。		・生活リズムが定まる。 ・首が据わり、寝返りをするようになる。 ・初期食を開始する。 ・話しかけると喃語を発する。		・午前、午後の2回寝になり、睡眠、食事の時間が定まる。 ・人見知り、後追いが始まり、喃語が盛んになる。 ・物をつかんだり、持ち替えたりする。		・午睡が1回に定まる。 ・手づかみで食べようとする。 ・はいはい、つかまり立ちなど移動が盛んになる。		・思い通りにいかないとき泣いて助けを求める。また、嫌いな食べ物ができる。 ・歩行ができるようになり、探索活動が盛んになり、保育者の模倣が多い、うたったり、挨拶したりできるようになる。		・スプーンの使い方が上手になり、食器に手を添える（乳児食になる）。 ・おむつが汚れると知らせる。また、タイミングが合えば、トイレで排泄できる。 ・友達との物の取り合いが多くなる。 ・保育者の簡単な言葉かけが理解できる。	
養護と教育	健康	生活習慣	食 事	授乳は安定した姿勢で抱き、微笑みかけながらゆったりとした気持ちで行う。	家庭で初期食を始めたら、スプーンで水分補給を行い、スプーンに慣れさせる。	・中期食に移行するので、家庭の進み具合を確認し、協力して進める。 ・色々な食材を食べてみようという意欲を伸ばす。 慣れない味や食感を嫌がるが自分のペースで無理なく食べられるようにする。 ・保育士がひざの上で抱いて座り、離乳食を口に運ぶ。	・後期食に移行するので、家庭の進み具合を確認し、協力して進める。 ・保育者に援助されながら、コップに手を添え、飲もうとする。 ・いろいろな食材に慣れ、食感を楽しみながら咀嚼力をつけていく。	・完了食に移行するので、家庭の進み具合を確認し、協力して進める。 ・歩行の確立、座位の安定、食べる意欲が十分にあり、自ら手を伸ばして食べようとしたら、椅子に座って食べる。 ・スプーンの使い方（上手にぎり）を知らせる）食材をすくうことに慣れる。 ・自分で食事のテーブルに向かうように誘導する。	・食材をスプーンですくい、口まで自分で運ぶように進める。 いろいろな食物に関心を持ち、進んで食べる。 ・保育者や友だちと一緒に食べるなかで、食への関心を高める。						
			排 泄	優しく語りかけながら、オムツ交換を行い、安心してオムツを交換してもらう。	オムツを替えて、綺麗になった気持ちよさを感じる。	オムツ交換時に足をあげる。	オムツ替えのときに保育者の言葉を聞いて立ったり、足を上げたりしようとする。	保育者に誘われてオムツ替えコーナーに行こうとする。	興味を示している子はトイレに行き、オマル・便器に慣れるように援助する。						
			着 脱	首が据わっていないので、頭をしっかりと支える。	上着の着脱のときは、袖から脱がせていく。声かけも必ず行う。	→	着替えの行為の参加を意識し始める。	手足を動かし、着替えの行為に参加し始める。	自分でズボンを引っ張ろうとする。						
			睡 眠	睡眠が取れるように静かな環境を作る。	睡眠のリズムが整ってくるので決まった保育者が睡眠に誘うことで一人ひとりが安心して眠れるようにする。	一定時間眠れるようになる。	2回寝になり、決まった時間に寝るようになる。	自分の布団を見つけ、同じ場所で安心して眠る。	1回寝で就寝のリズムが一定になる。自分の布団に歩いて向かう。						
			清 潔	肌着をこまめに交換してもらい、身体の清潔を保つ。	肌を清潔に保ち、さっぱりした気持ちよさを感じる。	・おもちゃを噛んだり、舐めたりするので毎日おもちゃを拭く。 ・戸外から帰園した後や食前は、保育者に手を洗ってもらい、綺麗になった気持ち良さを感じる。	・鼻水が出ていたら優しく声をかけ拭いてあげ、綺麗になった気持ち良さを感じる。 ・戸外から帰園した後や食前は、保育者に援助されながら手を洗い、綺麗になった気持ち良さを感じる。	→	食事前の手洗い後、自分で手を拭こうとする。						
	運 動		音のなるおもちゃを目の前に見せ、ものを追視したり、音のほうへ首を向けるよう促す。	首が据わると腹ばいなど、様々な体勢をとり、頭を上げたり、腕を支えたりするので、子どもの状態をよく見て無理のないようにする。	・腹ばいであそぶ。 ・ずり這いをして足でしっかり床を蹴る。 ・お座りが安定し、手で伸ばして物をつかんだり、両手を使って遊ぶようになる。	・下半身が発達し、はいはいで移動する。 ・高這いができ長時間姿勢を保つことができる。	・歩行が確立してきて、歩くことを楽しむようになる。 ・階段ののぼりおりができる（しゃがむ、またぐ）。 ・親指と人差し指で物をつまむ。	・足を揃えて階段のぼりをする。 ・ボールを蹴る、押す、引く。 ・積み木を3個以上積む。							
	人間関係 (人との関わりに関する領域)		・抱っこされて安心する。 ・あやされて喜ぶ。 ・視線が合うことが増える。	・喃語に優しく対応しながら特定の保育者が関わり、愛着関係の基礎を築けるようにする。 ・一人ひとりの欲求を受け止め、スキンシップを十分にとりながら、心地よく過ごせるようにする。	・知らない人を区別する。 ・周りの友だちの存在に気付き、笑いかけたり、徐々に触れ合ったりして、関わろうとする。	・三項関係の成立 ・人見知りのときは、不安な気持ちを理解し、まるごと受け止め、特定の大人との信頼関係をしっかりと結ぶ。	・友達とふれあい、共感する。 ・嫉妬の感情が表れるので気持ちをしっかりと受け止める。	・「～ではない」「～だ」の思考ができ、自我が芽生えるので、その気持ちを受け止める。 ・得意、すねる、不安など高度な感情表現が出てくる。							
	環境構成	人的・物的援助	一人ひとりの健康面や生活リズムを把握し、落ち着いた環境の中で眠れるようにする。	・個々の発達に十分留意しながら過ごし、生活リズムを安定させていく。 ・発達に合わせた様々な玩具を準備し楽しめるようにする。	・行動範囲の広がりに伴い、室内の安全面、衛生面に留意する。 ・五感に働きかける玩具を準備し、言葉かけをして活動意欲を引き出す。	・つかまり立ち、伝い歩きの際には転倒に注意し、探索が十分に楽しめる環境作りをする。 ・じっくりと楽しめる玩具と環境の設定をし、一人遊びを十分に楽しめるようにする。	・危険を予測し安全面に配慮しながら見守り、活発な活動が楽しめるようにする。 ・室内だけでなく戸外へも積極的に出て、自然を感じられるようにする。	・子どもたちが伸び伸びと活動できる環境を作るのに適したものを準備、設定する。 ・安全面を考慮し、活動時の保育者の配置を事前に検討する。							
	言語 (言葉の獲得に関する領域)		・クレーンゲーム ・母親の声の区別ができる。 ・話しかける人の目や口元をじっと見る。	・喃語がでる → ・反復喃語	・大人の呼びかけに反応する。	・指さしのはじまり ・喃語に強弱や高低がつく。 ・喃語の数が増え、保育者の言葉を少しずつ理解する。 ・名前を呼ばれたら振り返ったり手を上げたりできる。	・初語→一語文を話す ・「ワンワン」「マンマ」などの意味のある単語を言う。 ・象徴機能・大人の言葉に対し首振りなど動作で応える。 ・要求や拒否を喃語や動作で表現する。	・二語文を話す ・大人の言葉をオウム返しにする。 ・友達の名前がわかる→友達の名前を呼ぶ。							
	表	絵画・造形			・見る、触るなどの経験を通して五感の発達や手指の機能が育まれるようにする。	・点々を描く。	→	・連続ぐるぐる描きのはじまり。 ・ちぎる・転がすなどの触覚あそびを楽しむ。							
現	音楽			・音のするほうを目で追ったり、近づいて触れようとする。	・音楽に合わせて手を叩いたり、体を揺らしたりする。 ・音のするものに興味をもつ。	→									

具 体 的 な 年 間 計 画			4・5月	6・7月	8・9月	10・11月	12・1月	2・3月
	言語 (言葉の獲得に関する領域)		・喃語や発声、表情などで身近な大人に呼びかける。 ・名前を読んだり言葉がけに対し、仕草などで応じる。	・保育士の語りかけや歌に仕草などで反応する。	・指差しや身振りを盛んに使うようになる。 ・自分のしたいことやしてほしいことを、身ぶり手ぶりで伝える。	・絵本に触れ、親しむ。 ・一語文でやり取りを楽しむ。	・「ちょうだい」「はいはい」など言葉と動作が結びついてくる。 ・自分の名前を言う。	・二語文で簡単な会話ややり取りを楽しむ。 ・友だちの名前や先生の名前が分かり、呼ぶ。 ・絵本のフレーズや歌をまねて楽しむ。
	表	絵画・造形			触覚あそび	なぐり描き シールあそび		→ 触覚あそび(小麦粉ねんど)
		音楽	手あそび はるですね はるですよ ちゅうりっぷ ことりのうた	かえるのうた かたつむり きらきら星 みずあそび	たんぽぽのめがね 秋の空 ぼんぼこたぬき	どんぐりころころ やきいもグーチャーパー きのこ 大きなくりの木の下で	あわてんぼうのサンタクロース おほしがひかる ゆき 雪だるまのチャチャチャ	→ つくしんぼ ボンボンと春がきた たんぽぽ
	健康	運動	巧技台の山登り トンネルフープ マット 階段上り下り		水あそび プールあそび			→ 一本橋 両足跳び
反 省			保育者と一緒に、ゆったりと関わりながら好きな遊びを楽しんだ。 給食は、「抱っこ食べ」で、楽しい雰囲気の中で食べられるように丁寧に援助をした。歌を歌ったり、抱っこや、保育者の膝の上で遊んだりして、楽しんだり、天気の良い日は、戸外で外気浴や、散歩を楽しむ、自然に親しみながら、開放感を味わえるようにした。					